

件名：美術館企画展「みわはるき展 kuchibiruから・・・」

1. 目的

従来の創作技法にとらわれず、発表活動を続けている作家を取り上げる企画展。併せて、難解といわれる現代の作家の作品の理解を深めるために、出品作家によるワークショップなどを開催する。

2. 内容

みわはるき（1947年生まれ、1972年東京藝術大学卒）は、「描くとは何か。絵画とは何か」という単純で、しかしながら奥の深いテーマに立ち向かい制作をしている作家です。今回は、2003年から取り組んでいる「kuchibiru（唇）」シリーズを中心に構成し、会期中には、みわが絵画制作と共に、1976年、東京都美術館で行われた「一週間連続パフォーマンス」以来取り組んできている身体表現（パフォーマンス）もお楽しみ頂きます。

3. 事業の概要

- ①会期 平成27年 3月14日（土）～5月10日（日）
- ②会場 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 3階企画展示室
- ③観覧料 300円
- ④休館日 火曜日
- ⑤作家紹介

〔みわ はるき 略歴〕

1947 東京生まれ

1972 東京藝術大学美術学部卒業

主な個展

1976/81 東京都美術館（東京） 1981 田村画廊（東京）

1983 真木画廊（東京） 1984 村松画廊（東京）

1985/86 ルナミ画廊（東京） 1986/88-2014 藍画廊（東京）

1989 かわさきIBM市民文化ギャラリー（神奈川）

主なグループ展

1988 「揺相－欲望の海を渡る絵画」ギャラリー現（東京）

「溶蝕－欲望の海を渡る絵画」神奈川県民ホールギャラリー（神奈川）

1998 「さまざまな眼89 假面グライダー」

かわさきIBM市民文化ギャラリー（神奈川）

2006 「ラスコーの夢を見た」SPCギャラリー（東京）

2008 「絵画に見るもの、絵画から見えるもの」練馬区立美術館／檜画廊（東京）

- 4. 主催 渋川市教育委員会
渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館（担当：須田）

- 5. 実績 平成24年度「半谷学展 ― 再生、負のイメージから美のイメージへ。」
平成23年度「伊東孝志展 ― 接点を求めて そして離れて」